

以上三工場ハ同一歩調ヲ以テ臨時異給ニ對シテ要求ヲ明九  
 日一齊ニ會社側ニ提出スルニト但シ是ノ工場ハ既ニ本月  
 二日より斗争ニ入リテ居ル故ニ二工場連絡ノ下ニ新シ  
 ン斗争計画ヲ樹テ進ムコト  
 當之カ實行方法ハ各支那役員ニ一任シ同一資本ノ下ニア  
 ル關係上相互ニ監督ナル連絡ヲ執リ共同斗争ヲ捲キ起ス  
 コト

四、推 移

會社側ニテハ前記是ノ工場ノ強硬態度ニハ大カラス同  
 章狼狽シ尚最近斷ク各方面ニ於ケル貸銀値上ノ客觀的情勢  
 ヲ認識スルニ至リ一刻ニ早ク事態ノ円満解決ヲ計ラント焦  
 慮シ目下解決具體案作成ニ奮心中ナルヲ以テ近ク解決スル  
 見込

右及申(通)報候也

芳秋第一〇三四號

昭和十二年五月十七日

警視總監 横山 助 成

内務大臣 河原田 稼 吉 殿  
 社 會 局 長 官 殿  
 愛知 靜岡各縣知事 殿

大東紡織株式會社ノ労働爭議ニ關スル件 (第四報) 解決

要旨

（報後）本會社係全従業員是業徳久以来比較的無事ヲ有セリノ事據テ五月九日工場長三則他ヲ要求  
 一、是レ迄ノ全社用費概シテ解決無シテ労働者等ノ生活ニ甚大ノ影響ヲ及ボシ且チ労働者代表ヲ開會シテ  
 一、政府関係長官兩府所發之法律案望ミ上ニ有テ是ノ中開會解決ス

標記會社ノ労働爭議ハ既報後ニ後仁工場全従業員(愛知支那)ハ  
 引續キ機械ノ空運搬又ハ一部停止等ヲシテ殆ト平常生産額ノ半  
 減ニ近キ急業状態ヲ續ケルト共ニ工場内ニ於テ労働歌ヲ高唱シ

